



それはLinuxの開発を加速する Linux総合開発環境

SWEET

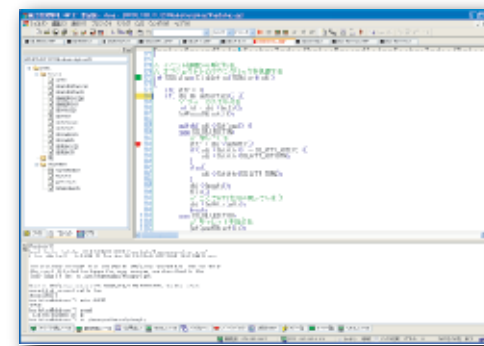
エディット
コンパイル
リモートデバッグ
ソース管理
プロジェクト管理

上級者に使いやすく、初心者にもやさしい

LINUX総合開発環境SWEETは、WINDOWS上でLINUXプログラムの開発を行うアプリケーションです。make, gcc, gdb, grep など、開発に必要なコマンドが簡単に使えるようになります。LINUXコマンドラインでの開発が初心者という方には「やさしい環境」を、既に使いこなしている上級者にも「便利で快適な環境」を提供します。

ターミナル+エディタ+アシスタント=SWEET

SWEETは、Telnetとエディタを一つにし、アシスト機能をプラスしたものです。初心者の方はもちろん、既にコマンドラインで開発している全ての人も、開発環境や手法を変えることなく導入できるアプリケーションです。プログラミング以外に必要な作業、makeファイルの作成、gccコンパイル、gdbデバッグ、gdbserverリモートデバッグ、cvsソース管理、grep検索など、UNIXコマンドラインでの作業を強力にアシストします。接続時の定型的な操作（ログイン、パスワード入力、チェンジディレクトリ、NFSマウント）、デバッグ時の煩雑な操作（ターゲットプログラムのgdbserverでの機動、開発機のgdb起動、ブレークポイントの登録、リモート接続開始、デバッグ開始）など、何度も繰り返しの行われる面倒な作業もボタン一発クリックでOK。もちろんTelnet機能はそのまま使えますので、コマンドをタイピングするやり方でもOK。また、SWEETから自動的に発行されたコマンドはコンソール画面に表示されますので、Linuxコマンドの学習にも最適です。GUI操作にも、コマンド入力にも対応したSWEETなら、初心者から、上級者まで全ての方にご使用頂けます。



ソースの編集機能

SWEETには、高機能なテキストエディタが内蔵されています。Linux側とのWindows共有（Samba）を通してソースの編集を行うことを考慮した設計になっています。修正ファイル修正箇所の表示、完全なアンドウ、リドウ、ファイル検索、フォルダ内検索（Grep）、置換キーワード、文字列、コメントなどの色分け表示、ブレークポイント、マークポイントの登録など、様々な機能が装備されています。

便利なジャンプ機能

SWEETのテキストエディタは、マーク登録行へのジャンプはもちろん、ビルドのエラー表示行からのジャンプ、Ctagsを利用した変数や関数の宣言位置へのジャンプ、実行中の関数呼び出し元へのジャンプ（バックトレース）検索結果表示（Grep）からジャンプなど、クリック操作で簡単にジャンプできます。

ビルド機能

SWEETは gcc をコントロールします。ボタンのクリックだけでビルドが実行できます。SWEETにより自動生成されたMakefileはセルフ、クロス、デバッグ、リリースと切り分けて別のフォルダにオブジェクトを生成しますので、高性能な開発機で開発を進め、最終テストをターゲットで実行するという使い方ができます。

プロジェクト管理

SWEETプロジェクトは、ソースファイルの構成、ビルドに必要なコンパイル・リンクオプション、ブレークポイント、マークポイント、ログイン先ホスト名など、開発環境の保存が容易です。また、登録情報からMakefileを自動生成することも可能です。

ソース管理

SWEETは、CVSをコントロールします。ソースの変更履歴の管理、過去のファイルとの比較表示（Diff）、バージョンの閲覧、プロジェクトの取り出し、チーム開発に必要な修正者の表示、修正済み、他者修正中のアイコン表示など、CVS操作を簡単、グラフィカルに。

デバッグ機能

SWEETは gdb（GNUデバッカ）をコントロールします。エディタでソースを確認しながらのステップ実行、ブレークからのジャンプ、変数ウォッチ、関数コール履歴表示（バックトレース）、マルチプロセスデバッグ時のアタッチといったデバッグ作業をグラフィカルに実行できます。

クロスリモートデバッグ

ターゲット機にインストールされた gdbserver と通信してリモートデバッグが可能です。CAT760(SH4)、CAT709(SH3)は既に gdbserver がインストールされていますので、ターゲットアプリケーションのデバッグも SWEET にお任せ。

構成図

